



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171～5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js/ FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第32号

2019.12.21(土)

桜和祭

「YOUは昭和で令和に平和な桜和祭～ぼくらの青春～」

アオハル

吹奏楽部と高3有志による発表



9月21日(土)・22日(日)の2日間桜和祭が開催された。事前の天気予報では台風の予報もあり、開催が危ぶまれたが、2日間とも良い天気に恵まれ、無事に実施することができた。

今年の桜和祭は「YOUは昭和で令和に平和な桜和祭～ぼくらの青春(アオハル)～」をスローガンとしたが、このスローガンには「令和」という新たな時代を迎えたなかで、これまで培ってきた昭和学院の伝統や歴史を残しつつ、さらに進化させて生徒・教員・保護者・来場者の方々など、すべての人に笑顔になってほしいとの思いがこめられていた。また今年は「遊び・楽しさ×学び=世界を知る、発見、社会貢献、成長」をキーワードとして掲げ、各クラスの楽しい企画・発表のなかに、昨今、国内外で発生している諸問題や歴史・文化などについて考え、学ぶ工夫を施した。その上で、世界の現状を知って少しでも日々の行動を変え、一人ひとりのより良い生活に結びつけることを意識した桜和祭を目指した。各部の展示や発表では、日ごろの研究や活動の成果を披露し、中には普段では体験できない内容もあり、多くの方々を楽しませていた。



▲ 華麗なバトン部の演技

中高の各クラスの展示や発表は学年の特色や特性を生かしたものであり、生徒の生き生きとした姿を見ることができた。特に中学校は3学年で協力し、4つのグループに分かれて展示や発表を実施した。3年生が中心となり、1・2年生のア



▲ 中学Bグループの発表(1の3)

イディアや意見をまとめながら企画・準備・当日と、最高学年としての務めを果たしてくれた。各グループともiPadを活用し創意工夫あふれる見事な展示や発表を完成させ、驚きや感動を与えてくれた。桜和祭を通して、学年としての横の関係のみならず、他学年との縦の関係も築くことができた中学生の今後のさらなる活躍が楽しみである。高校生は、クラスごとに企画書を1学期から作成し、社会貢献に結び付く企画を検討した。何度も企画書の練り直し、自分たちから発信できる社会貢献を盛り込んだ発表や飲食店を実施したことで、日々の行動を変えていくきっかけ作りとなった。さらに、高校3年生も希望進路の実現に向けて多忙のなか、内装・外装の装飾など様々な場面において協力をしてくれた。後輩のために緑の下で支えてくれた3年生がいたことで、一体感のある桜和祭にすることができた。

来年も生徒・保護者・教員・卒業生など、みなさんと一丸となり、笑顔あふれる桜和祭を目指していきたい。



▲ 賑わう縁日(高2)

高2

台湾修学旅行



▲ 大安(ダーアン)高工との学校交流(2班)

今年で2回目を迎える高2台湾修学旅行が1班は11月13日~16日、2班は14日~17日の3泊4日で実施された。今回の修学旅行の目的は台湾の歴史、文化を学ぶことで国際的な視野を深め、日本とアジアの関係を考えること、また、学校交流やB&S(班別研修)での台湾の学生との交流から異文化理解を深めることであった。

初日、成田空港を出発し一路、桃園国際空港へ。最初に訪れた忠烈祠では衛兵の交代式を見学した。一糸乱れぬ行進と銃剣さばきに



▲ 十份(ジウフン)のランタン上げ

生徒は感嘆の声をあげていた。その後、龍山寺へ向かい参拝し、おみくじを引くなどして過ごした。2日目はメインイベントの学校交流である。1班は南港高工、2班は大安高工を訪問した。両校とも大歓迎の中、まずは両校長の挨拶、その後生徒のスピーチに続き、ダンス部、新体操部、そして急遽結成されたヲタ芸のパフォーマンスを披露した。その後は授業見学や体験を通し、台湾の高校生との交流を深めることがで

きた。昼食後はコース別研修である。生徒は足裏マッサージ体験、海老釣り、小籠包作り、九份、十份から1つ選択をする。自分たちで作った小籠包、ノスタルジックな九份の街並み、十份の天燈上げなどそれぞれのコースを堪能した。夕食後は観光客で賑わう士林夜市で露店のゲームや買い物などを楽しんだ。3日目は終日B&Sである。班で台北の街を大学生と散策。観光地巡りや若者の人気エリア、タピオカなど満足した1日を過ごしたことはホテルに戻ってきた生徒たちの笑顔を見れば一目瞭然であった。最後に撮った大学生との記念写真は思い出の1枚となった。夕食後は学年合同のレクである。マジックショーやビンゴ大会、ダンスなど大いに盛り上がり学年の交流を深めることができた。最終日は国立故宫博物院を訪れた。ガイドさんの説明を聞きながら世界屈指の芸術品を見学。特に翠玉白菜、象牙透彫雲龍文套球には多くの生徒が集まり写真に収めていた。昼食後、桃園国際空港を出発し成田空港に到着。思い出に残る台湾の4日間は幕を閉じた。

今回の修学旅行で、台湾の伝統と文化を重んじる国民性に触れたこと、ガイドさんやB&Sの大学生が日本をよく熟知しており、大変親切であったこと、国際社会では互いの文化や歴史を理解することが重要であることを学んだ。また、生徒たちの主体性と責任ある行動に成長を感じることができた。この経験が今後の学校生活や進路選択に結びついていくことを大いに期待したいと思う。



▲ 忠烈祠(チュウレツシ)にて



▲ B&Sの自由散策

海外教育研修

Vancouver in Canada



▲ 学校見学

到着するとすぐに空港から公園に向かい、ファミリーと対面をした。次々に来るファミリーと緊張している生徒の出会いが今でも忘れられない。公園ではファミリー手作りの料理でパーティーが開かれ、いよいよ一家族に1人のカナダ生活が始まった。

我々が過ごすラングレイはバンクーバー近隣にある落ち着いた街である。日本の夏とは比較にならず、気候は涼しく湿度も低い。は



▲ 農場見学

じめに教わったことは水を持ち歩くことだった。月曜日から午前はカナダの先生による英語の授業が行われ、カナダ国歌から始まり次々と英語のみの環境で生徒は学んだ。午後は毎日違う種類のアクテ

ィビティーがあり、市庁舎や老人施設・学校訪問、スポーツ・文化的活動など授業だけではない様々な体験をした。ある日カナダの先生から、もっと意欲的に授業を受ける姿勢が欲しいと言われた。おそらく日本人のおとなしい



▲ 折り紙を教える生徒たち

反応が余計にそう感じさせるのだらうと思い、生徒達に笑顔と言葉を返すこともカナダで学ぶことだと話した。すると次の日、先生からとても反応が変わったと喜びの言葉をいただいた。語学も大切だが、このような日本と海外の大きな違いを知ることの方がきっと生徒を大きくさせるであろうと感じた瞬間であった。

最終日。授業を手伝ってくれたカナダの生徒たちや先生、家族との別れ。涙するばかりでなく抱き合って惜しむ姿、いつまでも手を振る様子…このままカナダに住みたいというくらいの姿に生徒たちは変貌していた。参加生徒たちにとって、この22日間は校内では体験できない人生で大きな出来事であったと思う。語学を学び、異文化を知り、そして一番大きな意味は自立の旅であったこと…今こそ日本とカナダ、両方の家族に感謝をしよう。

SHOWA GAKUIN

中2

職場体験



▲ 自衛隊での体験

し、望ましい職業観・勤労観を身につけることを目的として行っている。

中学1年生で、働くとは?をテーマに、職業プレゼンテーションを実施するなど、働くことへの意識を高めていった。中学2年生の2学期に、それぞれの希望に応じて体験事業所を決定した。その後、各事業所に関する調べ学習や事前打ち合わせに関する電話連絡、事業所との打ち合わせ等に取り組んだ。入念に練習してからおこなっ



▲ ホテルでの体験

11月14日(木)と15日(金)に、中学2年生が職場体験学習に参加した。これは、本校のキャリア教育の一環として毎年実施されているものである。お客さまを迎える立場となって、実際の仕事を体験させていただく貴重な機会である。

働く人々の喜びや苦労を実感

た事業所への電話では、緊張している生徒が多かったが、必要な内容については漏れなく確認を取ることができた。事業所の方々に丁寧に対応していただいたことに感銘を受けて、生徒たちは体験当日に向けて心構えができたようであった。

職場体験当日は、自分たちで集合時間・集合場所を決めて事業所へ向かった。実際の体験では、普段経験することのできない専門技術を要する職業や、地元市川市に古くからある事業所を中心として、働くことの充実感や大変さを実感しながら、積極的に体験活動に取り組んでいた。ある事業所の方からは、「よく頑張ってくれています。即戦力です。」とお褒めの言葉をいただいた。慣れないながらも、学ぼうと努力する生徒の熱意が伝わった結果と考える。今回の職場体験は、生徒たちが働く現場の雰囲気に触れることで、自身の将来について具体的に意識する契機となった。また、挨拶や礼儀の大切さについても実感することができた。この体験で学んだことを学校生活においても活かし、将来の自己実現に向けて努力し続けていくことを期待している。



▲ 病院での体験

芸術鑑賞会



▲ 出演者のみなさん

sion Performance Players!!のみなさんをお招きし開催された。

鑑賞会は、小川さんと神山さんのデュエットで始まり、アイガットリズムを出演者全員で演奏。その後、Percussion Performance Players!!の単独ステージに入った。パーカッションの華麗なる手さばきや、アイデア溢れるパフォーマンスに会場の雰囲気は盛り上がりを見せていた。ドレミパイプを使用している体験コーナーでは、生徒たちの楽しむ様子が見られた。アンコールは、再び出演者全員での演奏をみながら楽しんだ。

来年度は弦楽器を中心とした、室内楽を予定している。



▲ ステージを盛り上げた生徒たち

本年度の芸術鑑賞会は、市川市文化振興財団よりご紹介頂いたクラリネット奏者の小川さんとサクソフォーン奏者の神山さん、そして「世界の果てまでイッテQ!」にも出演した Percus

SGアカデミー



▲ 9月25日の様子

講師は本校教員をはじめ、卒業生、社会で活躍している各分野の外部講師など。第2学期は9月25日に海外留学関係外部講師の山本美里菜氏、10月18日に学習塾関係の杉平涼氏、11月9日に元プロテニスプレイヤーの杉山愛氏(奨学会文化講演会、P.5参照)、12月12日に大学教授の町田修一氏による講座が実施され、全17講座予定のうち13回が終了した。

今までの講座でどんなことが印象に残っただろうか。少しでも感じたことを是非、実行に移して欲しい。そして、心に残ったことがこれからの人生の指針となる、あるいは各自の夢の実現の一助となることを期待している。



▲ 10月18日の様子

平成30年5月9日に第1回SGアカデミー：未来講座が開講された。これは在校生の「夢や理想の実現」に向けて、学習意欲の喚起や自己表現に寄与することを目的とし、令和2年の創立80周年記念事業の一環で取り組みはじめたプログラムである。

スピーチコンテスト



▲ 中学校市川市内大会

した。竹村さんは10月9日(水)に行われた千葉県中学校英語発表会にも出場した。市内大会で優勝し、県大会に出場したことは中学校初の快挙である。10月1日(火)には市川浦安地区英語スピーチコンテストが行われ、高1朗読部門でミャムキンさんが優勝、高2・3年暗唱部

9月18日(水)市川市中学英語発表会が行われ、中1暗唱部門で井上美咲さん・大杉舞さんペアが4位入賞、中2暗唱部門で井邊綾乃さんが健闘した。中3暗唱部門では竹村季さんが優勝し

門では大山幸奈さん(高2)も優勝した。また、全学年スピーチ部門では堀内さとみさん(高2)が3位入賞となった。市内大会で優勝した2名は11月14日(木)に行われ



▲ 高校市川市内大会



▲ 高校千葉県大会

た県大会にコマを進め、ミャムキンさんが優勝、大山さんが2年連続の4位入賞を果たした。県大会での優勝、2年連続同一生徒の入賞は本校初の快挙となった。

SHOWA GAKUIN

全国総合体育大会・全国中学校体育大会 結果

高校 水泳部 寺門 弦輝 君 男子 200m バタフライ **優勝** 関谷 直樹先生



寺門 弦輝
男子200mバタフライ **優勝**
男子400m個人メドレー **第4位**



星 美里
女子100m背泳ぎ **第5位**
女子200m背泳ぎ **第7位**



小川 幸美
女子200mバタフライ **第8位**

水泳部は男子9名・女子9名で出場し、3名の選手が優勝・入賞を果たすことが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、普段からチームを支えてくださっている方々のお陰です。ご声援ありがとうございました。

高校 ソフトテニス部 高橋 章典先生 高校 新体操部 塩屋 恵美子先生



女子個人 **第5位**
齋木・吉野ペア



団体 **第6位**
堀池・渡邊・福田・
大内・横山・二木

中学 ソフトテニス部 高原 良江先生 中学 新体操部 塩屋 恵美子先生



女子個人戦 **第3位**
西山・鈴木ペア

団体 **第5位**
後藤・黒川・島貫・
渡邊・竹市



女子団体戦 **第5位**
西山・鈴木・小川・藤本
渡辺・多田・稲葉・服部



中学 水泳部 矢野 敏彦先生

女子100mバタフライ **第6位** 鵜田 未来



第74回 国民体育大会

「いきいき茨城ゆめ国体 2019」

～飛べ 羽ばたけ そして未来へ～

9月18日(水)国民体育大会出場選手壮行式が行なわれた。本校から4部26名の選手団が派遣され、茨城県で熱戦が繰り広げられた。結果は下記の通り。

水泳・競泳 (男女)



寺門 弦輝	400m個人メドレー	第3位
	4×100mメドレーリレー	第4位
	4×200mフリーリレー	第7位
星 美里	200m個人背泳ぎ	第7位
	4×100mフリーリレー	第6位
小川 幸美	200m個人バタフライ	第7位
賀部 寿音	4×100mフリーリレー	第6位



▲ 壮行式の様子

バスケットボール (少年女子)



第5位
中村・アチャラ
田平・田嶋・花島
石橋・早川

ハンドボール (少年女子)



第5位
宮代・高橋・田中
橋山・小柴・永島
西本・安田・尾関
小沼・近藤

ハンドボール (少年男子)



第5位
萩原
村上
天野
高橋

文化教養部主催 第7回文化講演会 SGアカデミー



▲ 講演する杉山愛氏

プレゼントします!とおっしゃった。先生のラケットで打ったボールがメインアリーナを飛ぶ度に歓声が沸き、華やかな幕開けとなった。

講演会のテーマは「『世界一の継続力』～グランドスラム62回最多出場の裏で～」。ポイントは4つだ。

1, ポジティブ思考 テニスツアーは、シーズンが1月～11月まで毎週世界各国で大会がある。世界には苦手な地域もあるが、見方を変えることで印象が変わり、よい試合をすれば必ず観客に感動を与えることもできると気づいた。トーナメントは、優勝以外負けて終わる。次に向けて気持ちを切り替えるため、普段の生活の中で自分がフレッシュになる時間を作ることが大切である。また、英語の必要性について、力強く語られたことが印象的であった。

2, Big Pictureを描く 高校2年でプロに転向し、世界ランク「トップ10」になりたいと思った。28歳で夢は叶ったが、道のりは長かった。

11月9日(土)「文化講演会」が開催された。元プロテニスプレイヤーの杉山愛先生を講師にお迎えし、中学高校の全生徒と保護者約500名が参加した。杉山先生は、入場するなり「時速200キロのサーブで、サインボールをプ

レゼントします!とおっしゃった。先生のラケットで打ったボールがメインアリーナを飛ぶ度に歓声が沸き、華やかな幕開けとなった。

講演会のテーマは「『世界一の継続力』～グランドスラム62回最多出場の裏で～」。ポイントは4つだ。

1, ポジティブ思考 テニスツアーは、シーズンが1月～11月まで毎週世界各国で大会がある。世界には苦手な地域もあるが、見方を変えることで印象が変わり、よい試合をすれば必ず観客に感動を与えることもできると気づいた。トーナメントは、優勝以外負けて終わる。次に向けて気持ちを切り替えるため、普段の生活の中で自分がフレッシュになる時間を作ることが大切である。また、英語の必要性について、力強く語られたことが印象的であった。

2, Big Pictureを描く 高校2年でプロに転向し、世界ランク「トップ10」になりたいと思った。28歳で夢は叶ったが、道のりは長かった。

最初からNo.1を目指していれば、もっと早く結果が出ていたかもしれない。ぜひ若いうちから高い目標、Big Pictureを描いて欲しいと熱く語られた。

3, ピンチはチャンス

トップ10日前でスランプになった。打ち方がわからない。負け続ける。辞めたくなり母親に相談すると「やりきったの?」と言われた。答えはまだだ。自分のことを一番理解している、テニス未経験の母親にコーチを頼んだそうだ。ゼロからやり直す中で意識が大きく変わった。心技体の中で自分に一番足りなかったのは心の部分だった。苦しかったが、このスランプがあったから成長できたという。「うまくいかないときはチャンスなんです。」という言葉で締めくくられた。

4, 最後に、、、好きな言葉は「遊戯三昧(ゆげざんまい)」。



▲ 質問を受ける杉山氏



▲ サインボールを客席へ

ことを楽しむという意味でワクワクスイッチを入れてあげて、人生を彩り豊かなものというメッセージをいただいた。60分があつという間の有意義な講演会であった。

バス研修旅行



▲ BIOTOP!Aにて

未病について体験できる「me-byo エクスプラザ」は、片足でどれくらい立てる? 反復横跳びは何回できる? など、楽しいアイテムにチャレンジしながら未病改善について考えることができた。その後、施設内にある和食レストランで、

11月7日(木)に、奨学会研修バス旅行が実施された。参加者は、大井校長、山崎奨学会会長、教員3名、中学校の保護者17名、高校の保護者60名の総勢82名である。昭和学院を出発し約2時間後、最初の研修地の神奈川県大井町にある『ビオトピア未病改善施設』に到着した。楽しく



▲ 参拝の様子

しゃぶしゃぶ鍋料理に舌鼓を打った。次に向かったのは箱根神社。箱根は、台風19号で温泉施設や登山鉄道などに大きな影響が出ているが、芦ノ湖付近にはその影響は見られなかった。皆さんで大きなご神木の杉を見上げながらご家族の健康、お子様たちの学業成就や大学合格祈願など祈りを捧げた。最終目的地の小田原鈴廣かまほこの里では、試食とお土産の購入を楽しんだ。

11月とは思えぬ暖かな陽気の中、健康と未病について考え、いろいろな体験を通して、親睦の深まった有意義な研修旅行であった。



▲ 箱根神社での記念撮影

桜和祭・学校説明会への協力



▲ 盛況だったバザー (母姉部)

めの警備・場内係など、多くの役員に参加をいただき、生徒とともに

例年、奨学会では学校行事に積極的に関わり、協力している。桜和祭では総務部企画の奨学会展示室、母姉部主催のバザー、生徒や来場者が安全に参加するた

に桜和祭を盛り上げることができた。また、昨年度より実施している中学校・高等学校の学校説明会への協力は今年度も実施された。受付や案内の手伝いをしながら、参加された方に昭和学院の実状を保護者目線で説明し、学校に対する理解を深めていただくのが目的である。多くの参加者と何気ない会話をしながら学校の説明をすると、こちら新しい発見があり、充実した時間をもつことができた。

奨学会では今後も様々な行事に協力することで生徒・保護者・先生方の絆を強くし、益々良い学校となるよう活動していきたい。

会員の皆様のご協力にはいつも感謝している。

中高等学校説明会

今年度の学校説明会は高等学校で4回、中学校は学校説明会と入試説明会を2回ずつ実施された。例年より多くの生徒、児童の方に参加していただいたことで、新しく導入されるコース制が期待されていることを、改めて感じた説明会となった。本校の教育方針や入試概要を理解していただく他に、実際に足を運ぶことで本校の雰囲気を感じ、今進めている学校改革を見ていただくことを目的としている。また、今年は生徒が活躍する説明会となった。インタビュー形式や、在校生と卒業生によるパネルディスカッションを行うなど、生徒の生の声を届ける機会を設けた。参加した方々からは「生徒さんの雰囲気が明るく楽しそう。」「施設が充実している。」「受験に向けて、模擬受験と解説がとても参考になった。」「生徒さんや先生方の対応がとても親切だった。」などのお褒めの言葉もいただいている。

昭和学院の良さを存分に見ていただき、多くの生徒、児童の方が本校を志望校としてくださるよう、魅力ある学校づくりを続けていく。



▲ 真剣に模擬試験を受ける児童たち

令和2年度 入試概要

中学校 併 願	一 般						帰国生 ② (併願可)
	インターナショナル アカデミー ②	ジェネラル アカデミー ②	マイプレゼン テーション ②	マイプレゼンテーショ ン イングリッシュ ②	適性検査型	アドバンスト チャレンジ	
試験日	1月20日(月) 15:00~				1月21日(火) 9:30~	1月23日(木) 9:30~	1月20日(月) 15:00~
選考内容	英語・国語・算数 から2科 ※特待選考あり	国語・算数	①自己表現文 ②プレゼン テーション 質疑応答	①自己表現文(日本語) ②プレゼンテーショ ン (英語) 質疑応答(英語)	①適性検査Ⅰ (読解力・表現力) ②適性検査Ⅱ (教科融合型) ※特待選考あり	2科 国語・算数 4科 国語・算数 社会・理科 ※特待選考あり	①英語・算数 から1科 ②面接 (受験生のみ) ※特待選考あり

高等学校	前 期 選 抜 試 験					後期選抜試験	
募集人員	(男女)156名					(男女)20名	
入 試	A 推 薦	B 推 薦	特進(特待生)入試		帰 国 生		一 般
志 望	第1志望	併 願	併 願		第1志望	併 願	第1志望 併 願
出願コース	ジェネラルのみ	ジェネラルのみ	ジェネラル以外可		全コース可		ジェネラルのみ
入試日時	1月17日(金) 9:00~	1月17日(金) 又は 1月18日(土) 9:00~	1月18日(土) 9:00~		1月18日(土) 9:00~		2月5日(水) 9:00~
入試科目	英・数・国 各50分 英語:リスニング有 面接:なし	特進(特待生) チャレンジ 希望の方は 特進(特待生) 入試に同じ	英・数・国 各50分 英語:リスニング有 面接:なし	特進(特待生) チャレンジ 希望の方は 特進(特待生) 入試に同じ	英・数・国 各50分 英語:リスニング有 面接:インターナショナル以外なし ※インターナショナルは 面接を英語で行う ※トップグレードは上記 3科目+理科・社会 各50分	英・数・国 各50分 英語:リスニング有 国語:帰国生入試用 (含作文) 面接:個人 ※インターナショナル は面接を英語で行う	英・数・国 各50分 英語:リスニング有 面接:個人

※試験について詳しくは要項をご覧ください。

(お問合せ) 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-17-1 TEL047-323-4171~5 本部事務局